

中川町

西山悟史

1. 中川町の概要と歴史

1.1 概要

中川町の名前の由来は中川郡の郡名による。町の花はツツジ、町の木はイチイである。姉妹都市は長野県中川村である。ポンピラ石やアンモナイトの産地として知られる。中世代白亜紀（約 8000 万年前）の地層が広く分布している本町は、アンモナイト等の化石が多数出土されている。1973 年（昭和 48 年）と 1991 年（平成 3 年）にクビナガリュウの化石が発見され、なかでも 1991 年に発見されたものは全長 12m という国内最大級であることが明らかになっている。

1.2 歴史

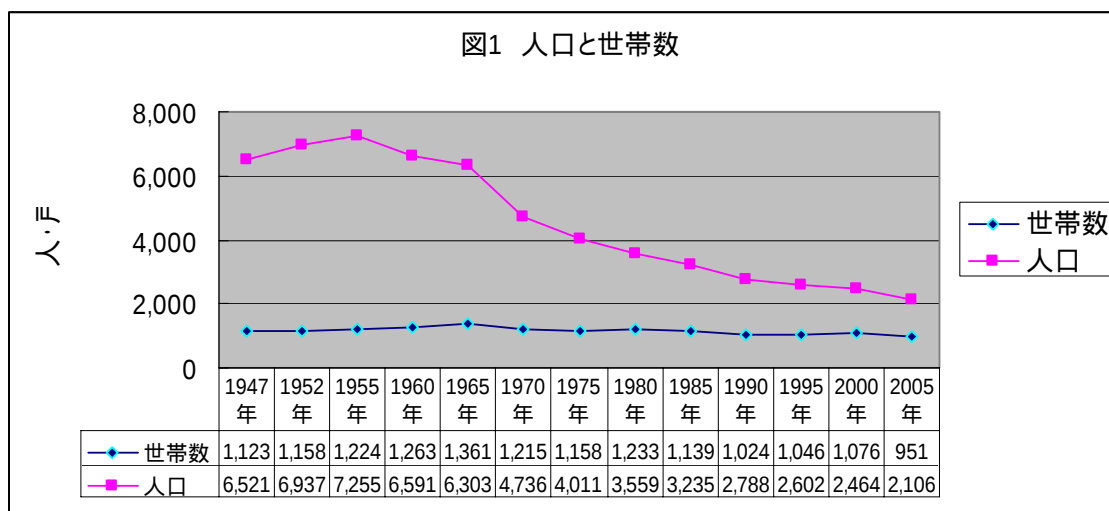
1906 年（明治 39 年）「中川村」の名称が誕生する。（現音威子府村を含む）1907 年（明治 40 年）下名寄村戸長役場（現美深町に設置）の管轄となる。1916 年（大正 5 年）常盤村が分村される。1919 年（大正 8 年）2 級町村が施行され、村名を中川村とした。1964 年（昭和 39 年）町制が施行された。

1.3 中川町の人々

中川町の人口は、一番多かった 1955 年から 2005 年までに 5149 人の減少となっている。度重なる冷害による集団離農や、高度経済成長期などを境に、主幹産業であった林業・畑作が衰退し、それに伴い人口は徐々に減少した。一方で、世帯数は大きな変化は見られない。

北海道の町村の中でも人口減少率の高い要因は、農業・鉱業などの産業の低迷にあり、若年層の流出と高齢化の波が押し寄せ、人口減少に拍車をかけていることにある。

2006 年（平成 18 年）6 月末の人口は 2,047 人（男性 1,010 人 女性 1,037 人）、世帯数は 946 世帯である。



出典：統計局 HP

1.3 地理

中川町は北海道の北部に位置し、東に北見山地、西に天塩山地が走っており、この両山地の中央を流れる天塩川とこれに合流する安平志内川流域に沿って南北に細長く拓けている。町の総面積は 594.87k m²を有している。

中川町の東経は 142 度 04.6 秒、北緯は 44 度 49.7 秒である。中川町へのアクセスは、車で旭川から 3 時間、札幌から 6 時間程度である。

図 2 北海道内における中川町の位置



出典：中川町小林牧場 HP

図3 上川管内における中川町の位置



出典：上川支庁 HP

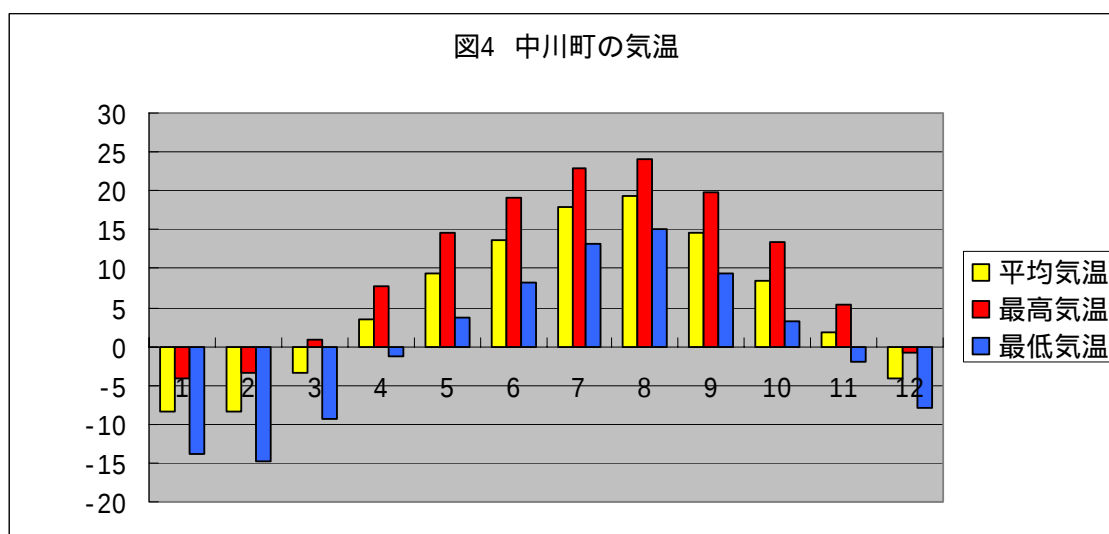
1.4 地勢

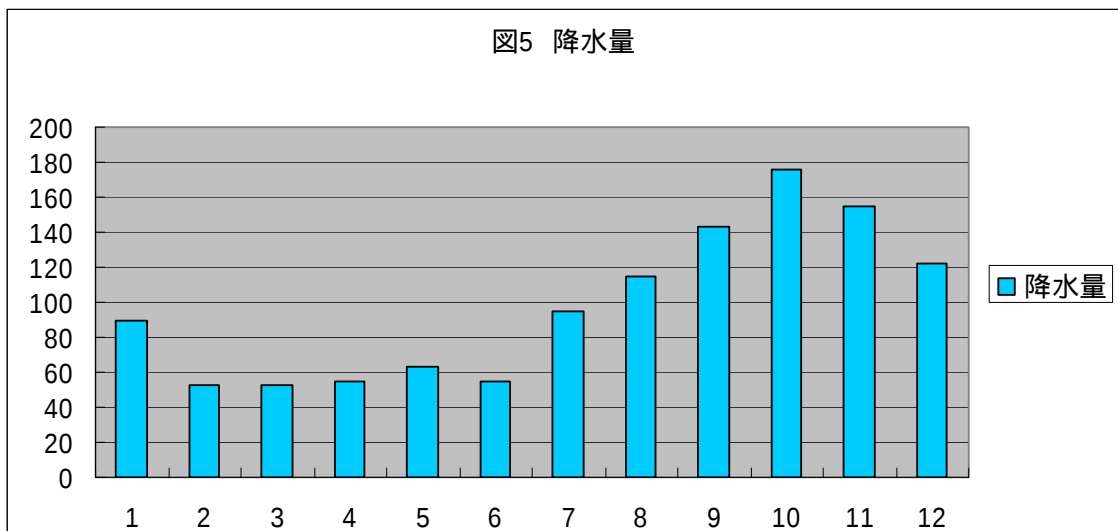
中川町の耕地土壌は平野地の一部の泥炭地を除き、肥沃で農耕に適している。総面積は595km²を有し、そのうち、山地が84.5%、農用地が5.91%、宅地が0.17%を占めている。地形は、山岳地と平野地に大別される。平野地の土壌は、沖積土壌が大部分である。

1.5 気候

気候は日本海沿岸型に属し、春は雨が少なく秋に多い。内陸性気候を呈し、冬季は寒さが厳しく積雪も多いのが特徴である。気温は、夏季は比較的高温であるが、最も冷え込む2月の平均気温は - 9.6 であり、最低気温は - 27.5 (2003 年)であり厳しい寒さであることがうかがえる。

図4 中川町の気温

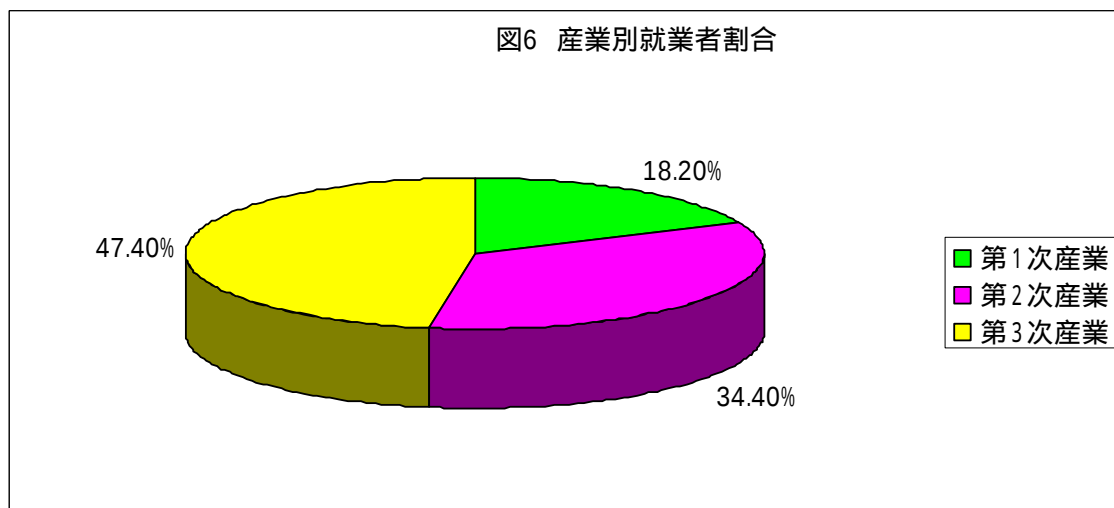




2. 中川町の産業

2.1 産業の概要

中川町の基幹産業は農業であるが、近年では、機械による農業の作業の効率化や、農業を継ぐ若者が減っていることもあり、第1次産業就業者が減少し、その結果、サービス業などの第3次産業就業者の割合が増えている。



総数は 1421 人

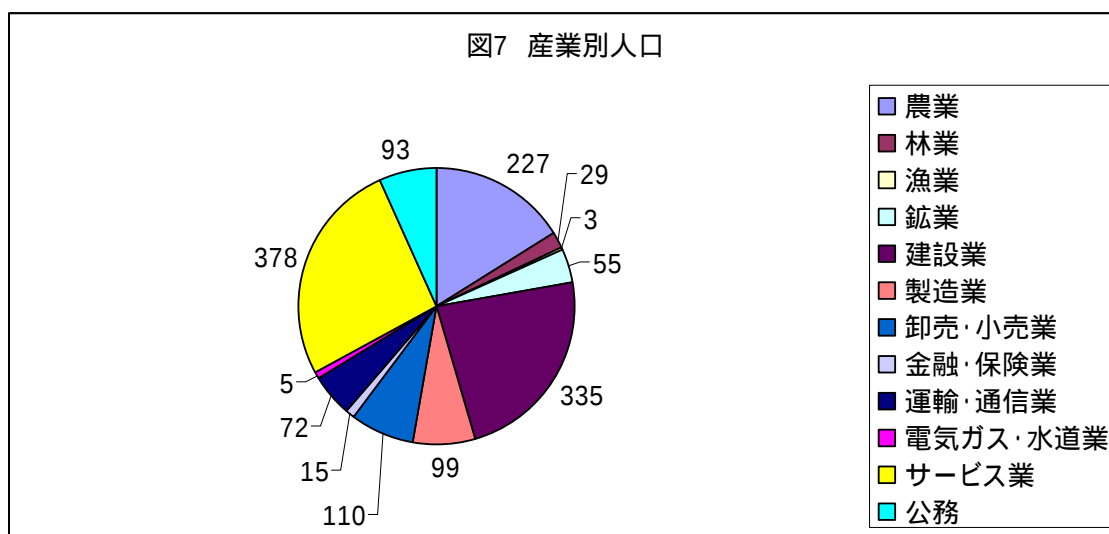


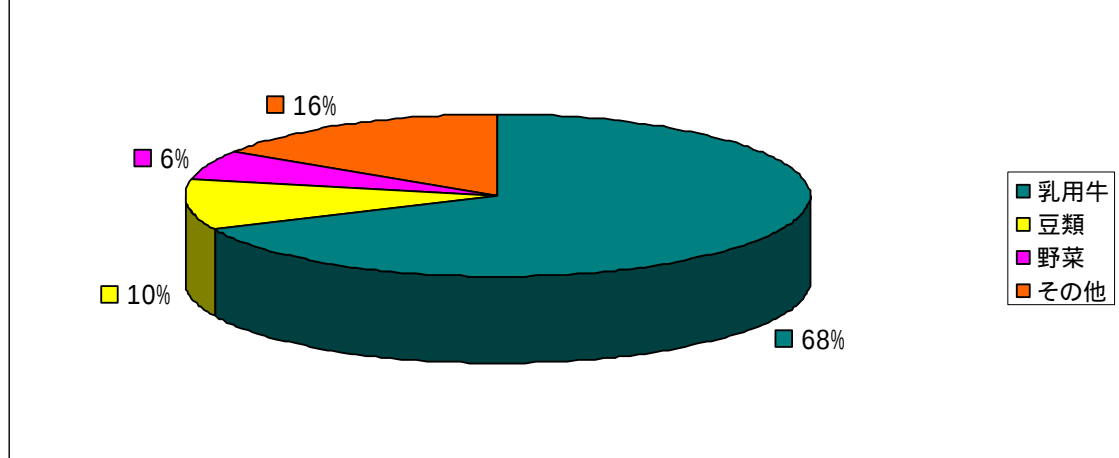
図 6 で目を引くのが建設業の多さであるが、近年、建設業からの農業への新規参入があり、新たな栽培品目の研究に乗り出している。たとえば、町内で栽培から加工までを体系化した品目としては、ハスカップがある。町内ではジャムや羊かんなどに加工され、果実は町外へも出荷されている。また、林業試験場道北支場が中川町役場から委託を受けてベリー類の栽培を 2003 年度にはじめた。「ベリーでマチおこし」を目標に 2005 年度までの 3 年間取り組んだ。菓子職人からは冷凍でしか手に入らない輸入ベリーを生果で求める声もあり、また、健康志向も高まっている中で、一般消費者からの要望もある。このような中で、ベリーは成長期待品目であると言える。

この例のように、低迷している農業界と他産業が手を組み、支えあっていくことが重要である。

2.2 農業

中川町の基幹産業である農業は、寒冷な気候を生かして豆類、いも類、工芸農作物を生産している。代表的なものは、てんさいで、収穫量は約 5000t である。その他は、小麦、そば、白菜を生産している。寒暖の差が大きい内陸性気候が育む作物は、豊かな渋味が評判である。畜産業は、現在 45 戸が合わせて乳用牛 2,910 頭を飼育している。このため、飼料作物の牧草、青刈りとうもろこしなどが大量に生産されている。

図8 農業産出額内訳



3. 観光について

3.1 観光スポット

・郷土資料館

ポンピラアクアリズイング向かいにあり、町内から出土した考古学上貴重なアンモナイトやクビナアリユウの化石などが展示されている。

テリジノサウルスの爪の化石



出典：中川町エコミュージアムセンター

・「ポンピラアクアリズイング」

豊かな自然に囲まれた保養施設「ポンピラアクアリズイング」は天然温泉のほか、流水プールなどのクア施設サウナを併設しており、クア施設付きの温泉は道北でも始めてで、町外からも沢山の方が訪れる。

- ・オートキャンプ場 「サポートパーク」

ポンピラアクアリズイングの隣に、1996 年（平成 8 年）5 月にオープンしたこのキャンプ場は、電源供給可能のキャンプサイト 25 区画有しており、キャンプ場内にはバーベキューハウス、シャワー施設、コインランドリー、水洗トイレ、炊事棟、売店を備えている。

またこのキャンプ場の管理棟はカヌー製作やカヌーを保管することができ、キャンプ場横を流れるトヨマナイ川を利用してのカヌー練習場や、トヨマナイ川が天塩川に合流する地点を利用してのカヌーポートなど、カヌーを楽しむには最適なポイントになっている。

3.2 中川町のイベント

中川町のイベントには次のようなものがある。

- ・ 乳牛共進会（7 月）

河川敷のイベント広場で行われる乳牛共進会は、町内の酪農家が育てた自慢の乳牛を連れてきて体型や乳房の形などの美しさを競い合う。とくに四肢や蹄の状態には健康状態が顕著に現れるため、日ごろの管理の善し悪しが問われる。厳しい審査を受け、優勝した牛はさらに大きな大会にも出場する。



出典：中川町観光情報

- ・ 丸太押し相撲（10 月）

林業の町という特性を生かして考案された「丸太押し相撲」。全長 10 メートル、重さ 100 キロの丸太を、5 人 1 チームで土俵の上で押し合い、力を競い合う。

大会には地元をはじめ道内各地の力自慢たちが参加し、男女別にトーナメントが行われる。



出典：中川町観光情報

その他には、ほうねんまつり（8月）佐久ふるさとまつり（8月）などイベントが多数ある。

参照ホームページ

中川町ホームページ

<http://www.hokkai.or.jp/nakagawa/>

上川支庁ホームページ

<http://www.kamikawa.pref.hokkaido.lg.jp/>

統計局ホームページ

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/index.htm>

中川町 小林牧場ホームページ

<http://www1.ocn.ne.jp/~kfranch/>

中川町観光情報

<http://www.hokkai.or.jp/nakagawa/kankou/top11.html>

中川町エコミュージアムセンターホームページ

<http://city.hokkai.or.jp/~kubinaga/>

わがマチ・わがムラ - 市町村の姿 - ホームページ

<http://www.toukei.maff.go.jp/shityoson/index.html>

北海道上川支庁地域政策部地域政策課統計係ホームページ

<http://www.kamikawa.pref.hokkaido.jp/ka-sinko/tokei/index/>